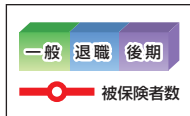
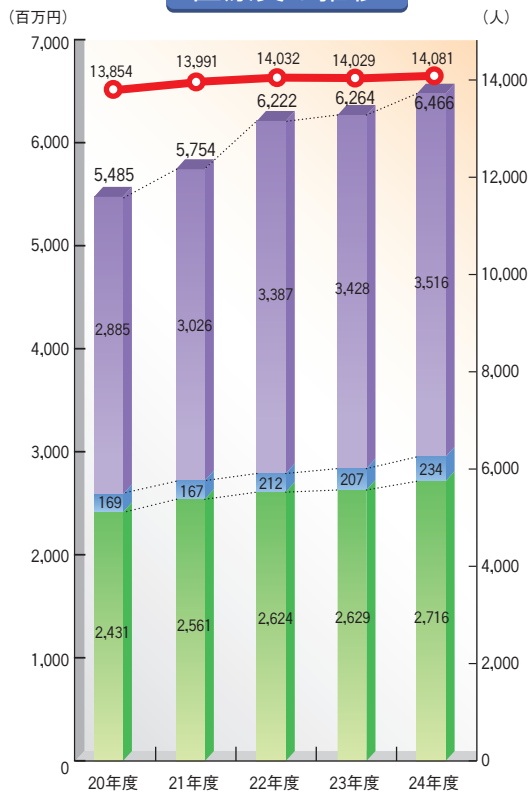


矢板市

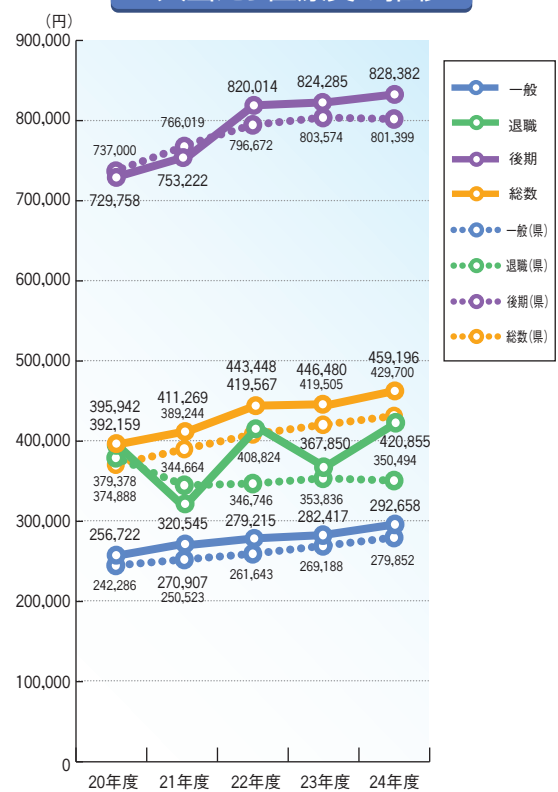
矢板市



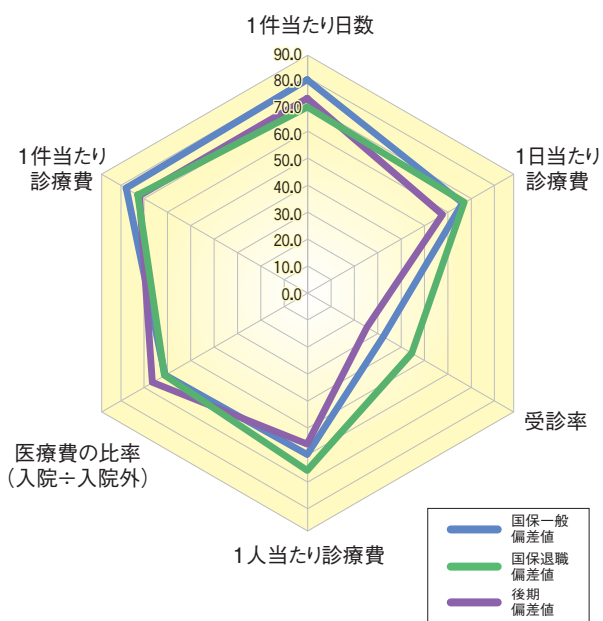
医療費の推移



1人当たり医療費の推移

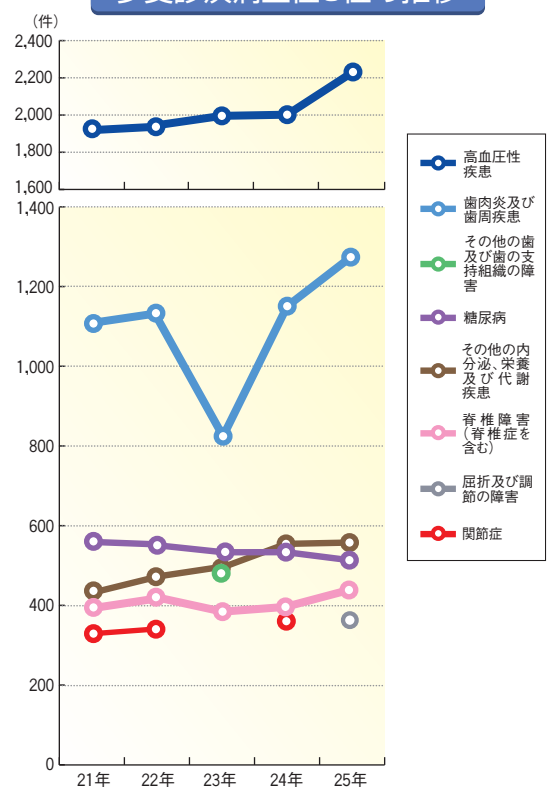


平成24年度 3要素と医療費諸費(県平均との比較)

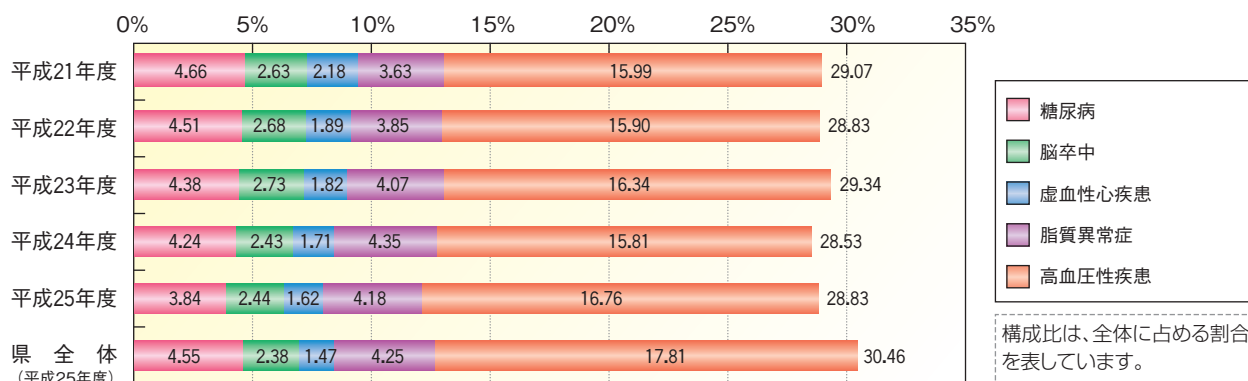


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

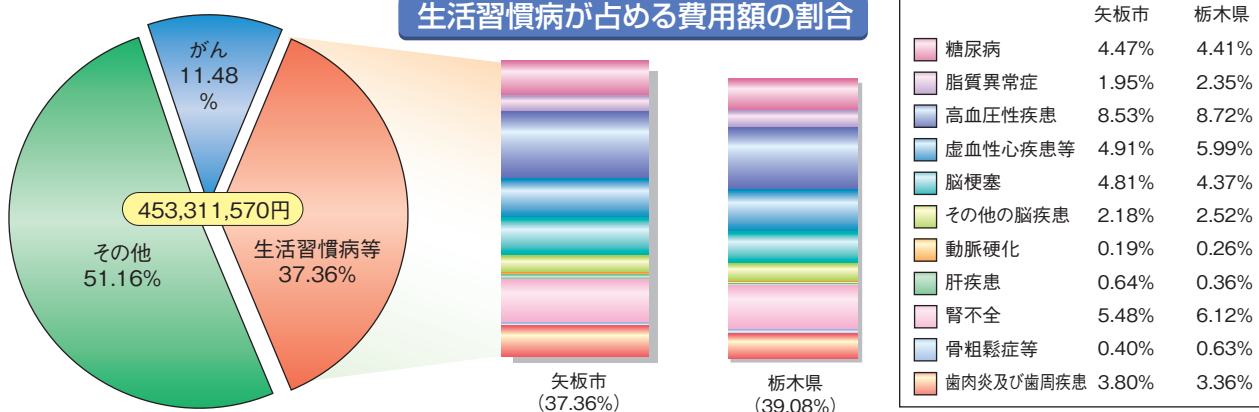
多受診疾病上位6位の推移



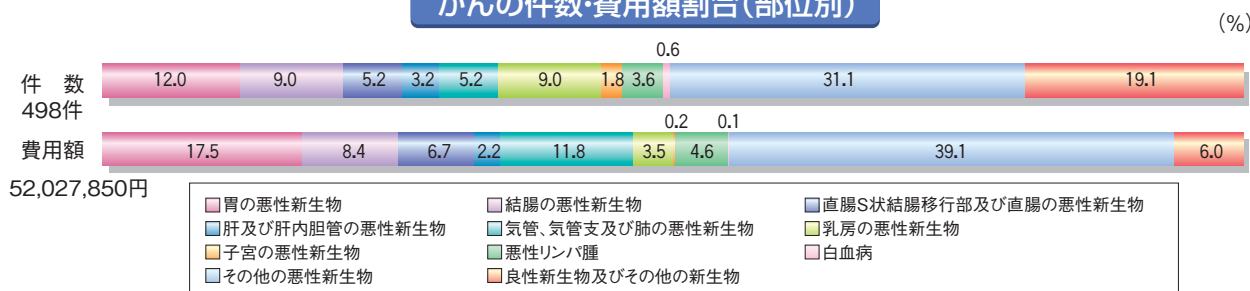
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



矢板市の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成24年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般2,715,869千円(103.3%)、退職234,416千円(113.4%)、後期3,515,652千円(102.6%)で、全体では6,465,937千円(103.2%)と増加している。()は前年度との比較。

平成24年度平均被保険者数は14,081人で、内訳は一般9,280人、退職557人、後期4,244人である。前年度比較すると全体で100.4%とほぼ変化はない。

また、平成24年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は459,196円(12,716円増)、一般は292,658円(10,241円増)、退職は420,855円(53,005円増)、後期は828,382円(4,097円増)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、受診率以外はいずれの法別も全て高い偏差値となっている。

★疾病の状況

平成25年5月診療分で件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、4位糖尿病、5位脊椎障害(脊椎症を含む)、6位屈折及び調節の障害で、中でも1位の高血圧性疾患は、平成21年と比べ件数は1.2倍、費用額は1.3倍と増加している。

また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べても低く、特に糖尿病は年々減少している。

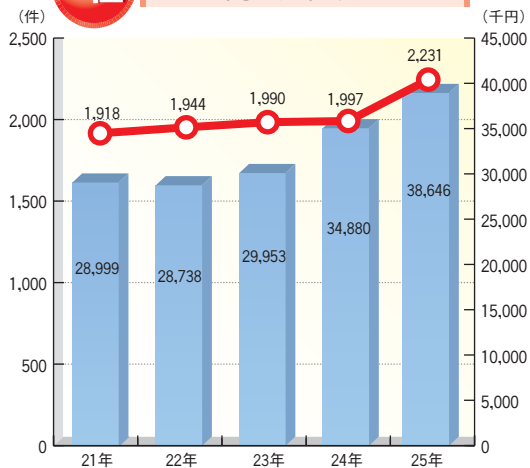
生活習慣病が占める費用額の割合では、平成25年5月診療分の総費用額が453,311,570円で、がんが11.48%、生活習慣病関連が37.36%を占めている(県全体 がん11.56%、生活習慣病関連39.08%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患8.53%、腎不全5.48%、虚血性心疾患等4.91%となっている。

がんの部位別の件数及び費用額の割合をみると、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数・費用額共に、胃の悪性新生物が高い割合となっている。

多受診疾病 上位6 の年次推移

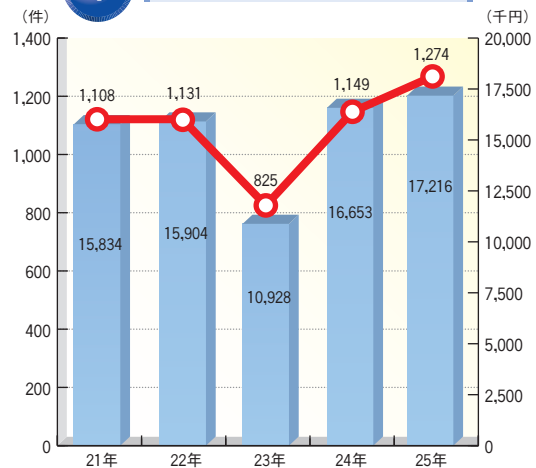
1位

高血圧性疾患



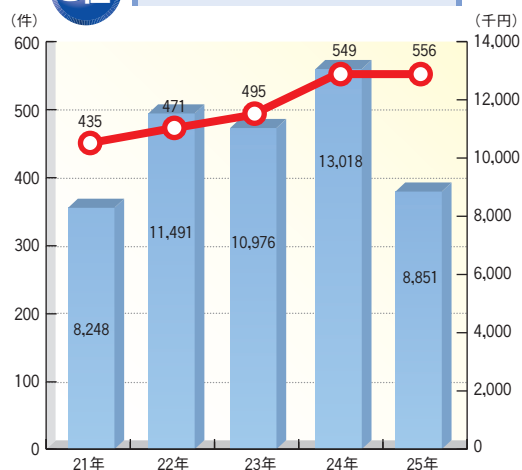
2位

歯肉炎及び歯周疾患



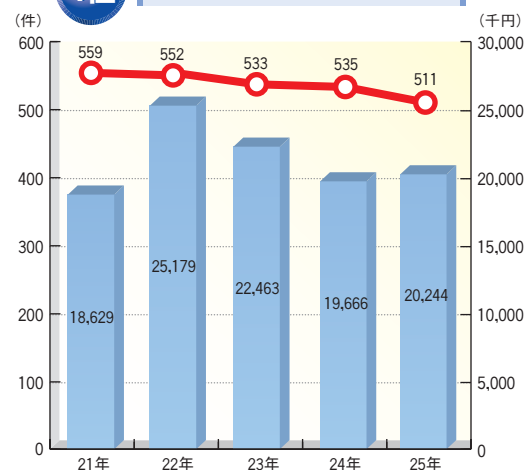
3位

その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



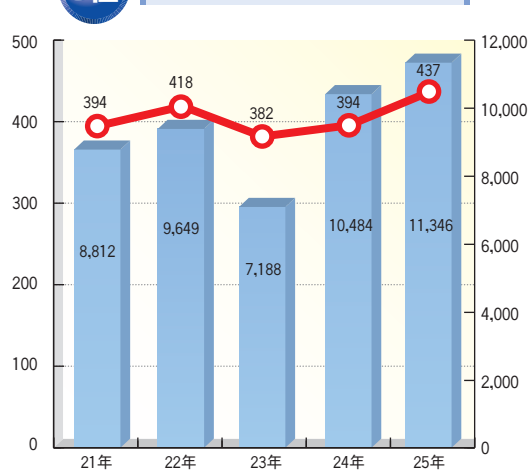
4位

糖尿病



5位

脊椎障害(脊椎症を含む)



6位

屈折及び調節の障害

